

【教員氏名】

大倉 季久

【単位数】

2 単位

【演習概要】

この講義は、担当者のほか、本学の専任教員等が各々の専門分野から環境問題に関わる部分を中心に講義を行います。様々な角度から環境問題についての基礎的な知識を学ぶことによって、今後さらに深く環境問題を考えるきっかけになることを期待します。

【学習目標】

現在、環境問題はそれ自体が問題であるというばかりではなく、社会経済活動の様々な面において影響を与えています。日々の暮らしの中から企業経営に至るまで、環境問題をどのように考え、どのように対処するかを考えることなくして、私たちの社会をこのまま持続することはできません。世界全体が取り組むべき環境問題について、世界市民の一人として、どのように考え、どのように参加し、どのように行動するのか、解決への処方箋を探ってみてください。

【講義計画】

- 第1回：イントロダクション
- 第2回：地球温暖化問題の基礎知識
- 第3回：エネルギーと環境問題
- 第4回：ドイツの脱原発と環境問題の取り組み
- 第5回：地域からの再生可能エネルギーの取り組み
- 第6回：地域史から考える人間と自然環境（1）
- 第7回：地域史から考える人間と自然環境（2）
- 第8回：日本の森林問題の歴史的起源とその構造（1）
- 第9回：日本の森林問題の歴史的起源とその構造（2）
- 第10回：生態系と生物多様性の保全（1）
- 第11回：生態系と生物多様性の保全（2）
- 第12回：環境保護のための法規制（1）
- 第13回：環境保護のための法規制（2）
- 第14回：環境問題と企業経営
- 第15回：地球に生きる私たちの未来

【成績評価の方法】

試験評価：90% 出席：10%

毎回コメントカードの提出を課す。その日の講義内容について具体的なコメントを書いていなければ減点する。

【参考文献】

必要に応じて適宜紹介する

【準備学習の指示】

毎回の講義内容をきちんと自分なりにまとめておき、次の授業前に読み返しておくこと。新聞・ニュースに目を通し、時事問題にも注意を払っておくこと。

【備考（管理者用）】

インテグレーション科目